

きくのはな通信  
園長 川名 マミ

「きくのはなの子ども達は本当に元気ですね。」  
そして「本当に楽しそうに夢中であそんでいますね。」と  
外からのお客様によくそのように言っていただけます。

夏から秋 2 学期

園庭では水遊びから自然物を活用した遊びに、  
泥団子づくり、クリスマス飾りづくり  
室内ではいろいろな種類の紙や素材を用いた制作活動、仲間とあそぶごっこ遊び、  
年長ならではの友だちとルールのあるゲーム遊び  
頭を使いながら組み立てる積み木やカプラ遊びなど、  
幼稚園ならではの環境下での活動は子ども達の創造力をはぐくみます。



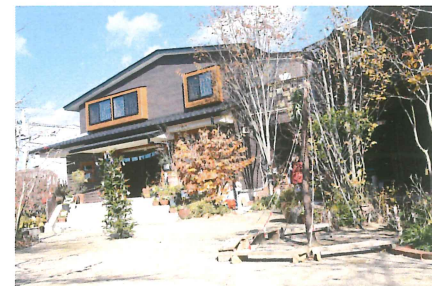
幼稚園・保育園でのあそびから学んだ経験は小学校以降の学力の基礎となります。  
就学前にたくさん、たくさん、遊ぶことが  
子ども達が先伸びする力へとつながる事となります。



子どもは子どもらしく遊んで、群れて、戯れ、気持ちを動かしながら、  
その時代を子どもらしく過ごすことが大切だと改めて確認しました。

このように夢中になって遊び込んだ子どもたちは、  
その経験によって満足感が得られ、自信が生まれ、  
結果、その得られた自信が子ども自身の自己肯定感につながっていくのです。  
幼児期に自己肯定感の形成はその子の将来にわたり大きな影響をおよぼし  
今、この時期に獲得することが非常に大切になってくるのです。

はなしは戻りますが、だからこそ、遊びの中から学び、  
子どもが子どもらしく過ごせる環境づくりを目指していきたいと考えています。



菊の花の子ども達はどの学年の子ども達も4月からかぞえて8か月！  
4月当初の姿に比べたくましくなりました。遊んでいる姿に活力があります。  
この調子で3学期も楽しく過ごしてほしいと思っています。

2021年が終わろうとしています。  
2022年が皆様にとってよい年になりますように！

こぎく・こでまり前の遊具は  
リニューアル予定です。只今準備中…